



# 日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 令和6年度 第1回 常任幹事会レポート



去る令和6年5月24日(金)に開催された標記会議内容についてお知らせします。

## 議題1. 令和5年度総合型地域スポーツクラブ育成事業報告及び決算について

事務局から、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2023-2027」(以下「育成プラン 2023-2027」という。)に基づく、令和5年度事業報告(案)と決算(案)に関して説明し、協議の結果、内容について承認された。

〈主な意見〉

- ブロック別クラブネットワークアクション(以下「ネットワークアクション」という。)に関して、スポーツ振興くじ助成金が減額となった理由は何か。

【事務局から上記に関する回答】

減額の理由は個別に開示されないが、参加者が限定される事業は評価が低くなる傾向があると聞いている。ネットワークアクションは、参加者を登録クラブに限定しておらず、最終的には地域住民のためにもなる事業であることを申請書でもアピールしたが、令和6年度も減額となってしまった。次年度以降の申請時には、事業の方向性や意義をアピールしていきたい。

## 議題2. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 認証制度について

事務局から、認証制度の検討進捗状況について、認証制度モデル事業検証ワーキンググループの協議結果および認証制度に係る規程案・手続きフロー案を説明した。常任幹事の意見を踏まえ、引き続き検討を進めることとした。なお、認証制度運用開始に向けて都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に対する意見聴取の機会を設けることとした。

〈主な意見〉

- 1 クラブの審査にどのくらいの経費が発生するか。

【事務局から上記に関する回答】

昨年度のモデル事業で依頼した審査機関によると1件40～50万円との見積だった。

- 認証を希望するクラブが多く出てきた場合、その財源はどうするのか。

【事務局から上記に関する回答】

当面は国庫補助金を充当することを想定している。その場合、一定期間は財源が担保されるが、その先の収支構造に関しては今後検討する必要がある。運用を進める中で手続きの簡略化を行うなどコスト削減策を考えていきたい。

- 今後審査料が上がる可能性があるのであれば、その旨を事前に説明する必要がある。

- クラブの申請件数は何件を見込んでいるのか。また、国庫補助金では何年程度財源を賄える予定なのか。

【事務局から上記に関する回答】

最初はモデル事業の対象となったクラブにご協力いただくことも検討している。初年度に関してはコストをなるべくかけずにやっていきたい。また、国庫補助金が何年使えるかという点に関しては、確約がないため今の時点でははっきりと回答できない。

- 金額を高く設定することである程度価値を高めることもできるため、審査料はもう少し上げて良いのではないか。

- 20,000 円の根拠を明確にできたら良い。また、途中で値上げをするのは難しいことと、審査に係る経費を踏まえると高めの金額を設定しても良いのではないか。

- 実地審査を各都道府県にある程度任せてはどうか。何回か審査を行う中でチェック項目もはっきりしてくるため、都道府県単位で審査していくことができ、コストダウンにもつながるのではないか。

【事務局から上記に関する回答】

将来的にみると、外部委託のみで審査を行うよりも組織的に行えるとコストダウンも見込めると思う。数年運用した上で徐々に都道府県の方々に協力を仰いでいけるような形も含めて検討したい。

- 認証審査料は、審査に係る費用であるため、審査料を支払っても認定されない可能性もある。

- 認証を受ける際、審査料以外にも他に費用が必要なのか。

【事務局から上記に関する回答】

認証の際には、審査料以外の費用は発生しない想定である。

- 介護予防タイプについて、認証基準の統合を検討中とあるがこの具体的な内容を教えてほしい。

【事務局から上記に関する回答】

同じような内容の基準項目を統合することを検討している。次回のワーキンググループで修正案を協議する。

- 審査を受けた後にどれくらいフィードバックをもらえるかが重要である。何が評価されて、何を改善する必要があるのかを分かれば、単なる審査ではなく評価やチェックの機会にもなると思う。外部審査機関に対してどのようなオーダーを出すのかも重要で、手を挙げたクラブにとってプラスになるような審査にしてほしい。また、認証されたクラブに対して、そのあとのフォローはどうなるのか。認定証がクラブに届いて終わりではなく、認証されたことは当該の自治体に周知されるのか。認証だけでなく申請があったことも伝えるのか。クラブからというよりも、都道府県体育・スポーツ協会等から発信した方が良い場合もあると思う。認証されたクラブが格を高められるような仕組みを作っていくと良いのではないか。

- 認証制度に価値を与えるという点では、認証後のフォロー等みんなで支えていく仕組みを作った方が良い。
- 認証後にホームページに載るだけでは一般の人には気づかれにくくアピールにはつながらない。また、4年間の認定有効期間に何か確認やクラブから報告するようなことを行うのか。万が一認証した団体が問題を起こしたときの認証の取り消し、処分等もあらかじめ決めておく必要があると思う。

【事務局から上記に関する回答】

4年間、審査以外の確認のようなことは手続き的には発生させないつもりだが、クラブとのやり取りを継続していく中で状況確認はできると思う。問題が起きた時の対応に関しては、認証制度に係る規程案に記載しており、登録の基準に合わせて整理をしている。

- 常任幹事が所属しているクラブが認証を申請した場合の審査について、当該常任幹事の議決権を無くす等、利益相反につながらないように、規程の中で明記していく必要があるのではないかと。

【事務局から上記に関する回答】

利益相反に関わる議決権の行使については、本件に限らず全体に関わる内容であるため、認証規程または基本規程において定めることを検討する。事務局案を作成し、次回の常任幹事会で提案させていただきたい。

- 認証基準について、ルーブリック表を作成したうえで認証の基準を作成すると、評価の基準を明確に示すことができるのではないかと。

【事務局から上記に関する回答】

モデル事業でも評価方法について反省点があったため、評価やフィードバックについては改めてワーキンググループにおいて検討したい。

- 認証審査を外部機関に委託するのであれば、常任幹事会はどこまで審査することになるのか。

【事務局から上記に関する回答】

常任幹事会では、審査機関の審査報告が、認定基準をもとに問題がないかを判断する。審議が必要な事案も発生することが考えられるが、具体的な審査方法については今後さらに検討が必要であると感じている。

- 外部機関にどのような形で審査してもらうのかも検討が必要である。常任幹事会で審査しやすいような形で外部機関に審査を行ってもらった方が良いのではないかと。

### 議題 3. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 都道府県独自基準の策定

事務局から、神奈川県および宮崎県から申請があった独自運用ルール・独自基準(案)を説明した。協議の結果、神奈川県の独自運用ルールは承認された。宮崎県については、独自運用ルールおよび独自基準に確認すべき点があったため、宮崎県に差し戻すこととした。

〈主な意見〉

- 言葉の捉え方が人によって異なるように、内容の意味合いについては事前に事務局から当該都道府県に確認した方が良い。
- 基本的にスポーツも文化活動である。そうするとスポーツは文化に含まれないのかという議論も出てくる。こういった点も踏まえ、文言に関してはもう一回議論する必要がある。

#### 議題 4. スポーツ少年団との連携体制の構築について

事務局から、「育成プラン 2023-2027」に基づくスポーツ少年団との連携について、事務局にて作成した目的および課題、今後の連携体制の構築イメージについて説明し、連携促進を目的とした連携促進会議(仮)の設置について協議した。協議の結果、連携促進会議の設置について承認され、メンバーについては幹事長一任となった。

##### 〈主な意見〉

- スポーツ少年団は小学校卒業と同時に卒団してしまうが、この卒団の仕組みをやめれば、スポーツ少年団と総合型クラブの連携ができると思う。休日の部活動をターゲットにしながらスポーツ少年団との連携を検討してはどうか。また、NF 登録単一競技のスポーツクラブについて、以前総合型クラブも単一種目を認めても良いのではないかという議論があったが、くじ助成の関係で複数種目になった。単一競技のスポーツクラブというよりも、多世代型や多志向型を含むスポーツクラブという言い方をした方が総合型クラブと連携しやすくなるのではないか。
- 懸念事項として、これまで総合型クラブに法人化を推奨してきた経緯がある。NPO 法人が解散しないまま残ることも問題になっている中、法人同士が合併することでそれぞれが解体するのか、一つの団体に合併するのか専門的に検討する必要がある。
- スポーツ少年団の多くは市町村の教育委員会が事務局を担当したり、スポーツ協会の組織内に位置付けられていたりスポーツ少年団ごとに法人化はしていない。単位スポーツ少年団も法人化はほとんどしていない。現場では、中学生になってもスポーツ少年団を続けている子も多い。現場レベルではスポーツ少年団と総合型クラブが一緒になって活動をしている実態があるが、都道府県レベルでは連携していない。まずはスポーツ少年団と総合型クラブがお互いの良さを知りあうことから始めなければならない。平成元年度は、スポーツ少年団の団員数は 110 万人いたが、現在は半分の団員数になっている。これは少子化だけが原因ではなく、東日本大震災やコロナの影響もあるが、明らかにスポーツ少年団離れが起きていると感じる。ほとんどの国民に小学生だけのスポーツ団体という勘違いをされていることが大きい。実際には指導者資格を持ち、大人になってもスポーツ少年団に登録している団員もいる。すぐに全ては変えられないため、このようなスポーツ少年団を少しずつ増やしていくしかない。
- お互いのためにも連携は早く行った方が良いのではないか。また、スポーツ少年団でも会費を集めているため、会費を集めることに対しては違和感なく受け入れてもらえるのではないか。

#### 議題 5. 令和 6 年能登半島地震の対応について

事務局から、令和 6 年能登半島地震の対応について説明し、協議の結果、石川県スポーツ協会から要望のあった石川県内の 6 つの登録クラブに対する登録料の免除が承認された。

##### 〈意見〉

なし

## 報告 1. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 令和 6 年度登録クラブについて

事務局から、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度令和 6 年度クラブについて報告した。令和 6 年度の登録クラブ数は 1,088 クラブであり、令和 5 年度の予備登録クラブ数から 43 クラブ増加した。

〈意見〉

なし

## 報告 2. 令和 6 年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業（国庫補助事業）について

事務局から、令和 6 年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業の実施内容および、都道府県体育・スポーツ協会事業に計 35 道府県体育・スポーツ協会から申請があったことを報告した。

〈主な意見〉

- 都道府県によって予算の使い道にばらつきがあり多種多様だと感じる。各都道府県がどのような取組を行っているのか、SC 全国ネットワーク総会やクラブ支援ミーティングのような場で実績や事例が共有されることで、都道府県の担当者が具体的なイメージを描きやすくなるのではないか。
- 県内では情報が共有されているかもしれないが、県を超えて共有される事例は中々ないため、何らかの機会に情報共有の場を設けられたら良い。

## 報告 3. 令和 6 年度専門部会の取組

事務局から、総合型地域スポーツクラブ全国協議会における令和 6 年度専門部会の取組について報告した。

〈意見〉

なし

## 報告 4. 令和 6 年度クラブ支援ミーティングについて

事務局から、6 月 13・14 日に実施する令和 6 年度クラブ支援ミーティングの概要を報告した。

【6 月 13 日(木)】

- 1) スポーツ庁からの情報提供(予定)
- 2) 日本スポーツ協会からの情報提供
  - ① 総合型クラブ育成計画・予算
  - ② 総合型地域スポーツクラブ全国協議会の取り組み
  - ③ 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度について
  - ④ その他
- 3) 独立行政法人日本スポーツ振興センターからの情報提供(予定)

-----以下は、クラブアドバイザー等のみ参加可能-----

4) スキルアップ研修: パネルディスカッション

テーマ: 総合型クラブにおける人材育成のための支援

5) 情報交換、グループワーク I

テーマ: 登録・認証制度運用に関する課題と取組について

テーマ: 総合型クラブの財源確保について

【6月14日(金)】

1) 事例発表

学校部活動の地域連携においてクラブアドバイザーができること

2) 情報交換、グループワーク II

学校部活動の地域連携においてクラブアドバイザーができること

〈主な意見〉

なし

### 報告 5. 広報部会員の辞任について

事務局から、令和6年度 SC 全国ネットワーク広報部会員の辞任について報告した。

〈意見〉

なし

### 報告 6. 代表委員の変更について

事務局から、令和5・6年度 SC 全国ネットワーク代表委員の変更について報告した。

新旧	ブロック	都道府県	名前	所属クラブ	役職
新	近畿	兵庫県	田村 泰啓	スポーツクラブ21しかま	理事長
旧			福田 幸夫	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	理事長
新		奈良県	川崎 香織	一般社団法人五條スポーツガーデン	代表理事
旧			松原 政則	NPO法人吉野スポーツクラブ	理事長
新	九州	大分県	久士目 弘美	NPO法人わいわい夢クラブ	クラブマネジャー
旧			渡辺 亨治	日出町総合型地域スポーツクラブ ひまわりのたね	クラブマネジャー 事務局長

〈意見〉

なし

## 報告 7. 令和 6 年度スポーツ振興くじ助成金交付決定

事務局から、令和 6 年度スポーツ振興くじ助成金交付決定額一覧について報告した。

事業名	申請額	決定額	R5 決定額 (参考)
①ブロック別クラブネットワーク アクション 2024	8,538,000	6,830,000	5,951,000
②総合型地域スポーツクラブ 情報提供(メールマガジン)	1,664,000	1,664,000	1,653,000
合計	10,202,000	8,494,000	7,604,000

(単位:円)

〈意見〉

なし

## 報告 8. 登録クラブ処分について

事務局から、処分が決定した 2 件の事案について報告した。

〈主な意見〉

- 都道府県が処分を行う際に、判断に迷わないようわかりやすい基準を設けた方が良い。処分に関してはこれまでの事例も多くないため、今後も事例を蓄積していく必要がある。